

令和 3 年度 事業 報 告

法 人 本 部

障害者自立支援施設くるみ

- 自立訓練（生活訓練）
- 就 労 移 行 支 援
- 就労継続支援 B 型
- 就 労 定 着 支 援

地域生活支援センターぽぽろ

- 地域活動支援センター（I 型）
- 精神障がい者地域生活支援事業
- 市町村相談支援事業
- 指定一般相談支援事業
- 指定特定相談支援事業
- 地域生活支援拠点事業

外部サービス利用型共同生活援助どんぐり

社会福祉法人 くるみ会 令和3年度事業報告

目 次

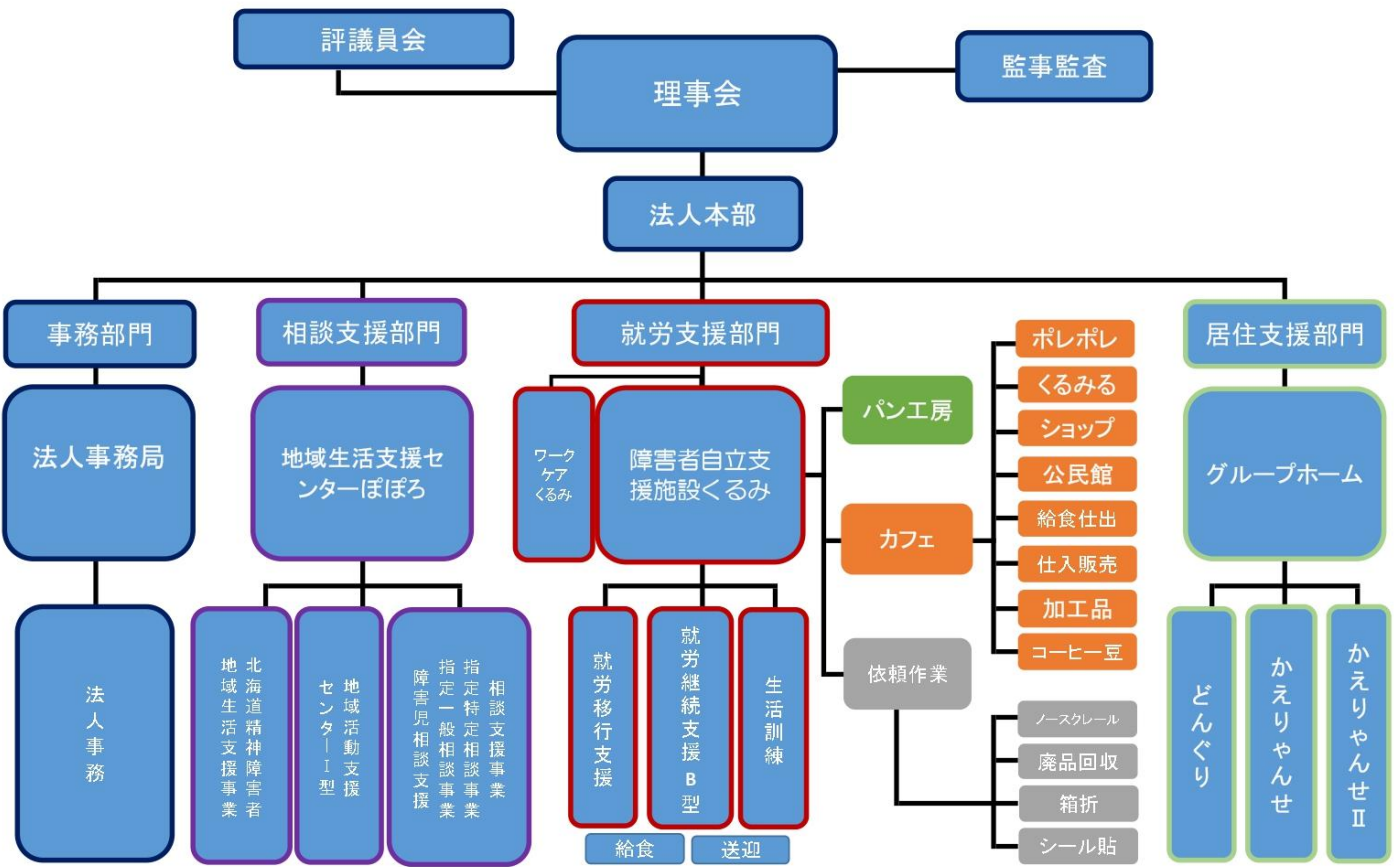
	頁
I. 社会福祉法人くるみ会	1
II. 法人本部	3
III. 障害者自立支援施設くるみ	7
○自立訓練（生活訓練）	8
○就労移行支援	9
○就労継続支援B型	10
○就労定着支援（ワークケアくるみ）	13
IV. 地域生活支援センターぽぽろ	14
○地域活動支援センター（I型）	14
○精神障がい者地域生活支援事業	16
○市町村相談支援事業	18
○指定一般相談支援事業	20
○指定特定相談支援事業	21
○地域生活支援拠点事業	22
○その他事業及び主な取組み	23
VI. 外部サービス利用型共同生活援助どんぐり	25

I. 社会福祉法人　くるみ会

事業内容

- ・障がい者自立支援施設くるみ 生活訓練・就労移行支援・就労継続支援 B 型、就労定着支援（ワークケアくるみ）
- ・地域生活支援センターぽぽろ 地域活動支援センターⅠ型、相談支援事業、精神障がい者地域生活支援事業（道委託）、指定特定相談支援、指定一般相談支援、地域生活支援拠点
- ・グループホームどんぐり 外部サービス利用型共同生活援助

社会福祉法人くるみ会組織体系



令和3年度をふりかえって

長引くコロナ禍にあって、当法人では利用者並びに職員の生活を守り抜こうと、法人の理念である「笑顔の創出」を合言葉に福祉サービスの継続にまい進してきました。おかげさまで利用者から一人も陽性者を出すことなく今日まで過ごすことができました。このことに安堵せず、今後も感染対策を徹底しながら事業の運営に取り組んでいきたいと思えます。

就労支援事業を行っている「障害者自立支援施設くるみ」では、利用者の工賃アップを目指し昨年から菓子事業に取り組んできました。タルトの開発のほか、イベント「スイーツを楽しむ会」の開催や、クリスマスケーキ・ひな祭りケーキの販売などを通じ地域の方々との絆をより深められたのではないかと感じています。また近隣自治体とのコラボによる商品開発を手掛けられたのも、うれしい取り組みのひとつでした。

一方、相談支援事業を行っている「地域生活支援センターぽぽろ」では、一人ひとりの生活課題に向き合う質の高い相談対応の推進を目指して日々の業務に取り組んでいます。障がい当事者が、同じく障がいを持つ人の地域生活をサポートする「ピアサポーター」の養成にも力を入れています。昨年度は、障がい児者の重度化や高齢化、「親亡き後」等緊急時に備える支援体制を築く「地域生活支援拠点」の委託を中空知7市町より受けました。今後も職員一人一人が専門性を生かし、地域の相談支援体制づくりに貢献してまいります。

法人の新たな活動拠点となる施設整備計画も、日常業務の合間を縫って順調に進めてまいりました。昨年8月、道に提出した「社会福祉施設等施設整備計画」は、砂川市のお力添えもありすでに北海道で採択され、現在は国の審査を受けている段階と聞いています。順調にいけば本年6月頃にはG oサインが届くのではないかと役職員一同心待ちにしている次第です。やがて建設の槌音を聴きながら日々の活動に精を出す日が近いのではないのでしょうか。

Ⅱ. 法人本部

(1) 評議員会・理事会の運営について

評議員会

- 令和3年6月23日 定時評議員会 書面開催
- 第1号議案 令和2年度事業報告並びに決算計算書類承認について
- 第2号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任について
- 令和3年7月27日 臨時評議員会 砂川市地域交流センターゆう
- 第1号議案 欠員に伴う理事1名選任について
- その他 ① 令和3年度第1四半期決算報告
② 施設建設計画の進捗状況報告
- 令和3年10月21日 臨時評議員会 砂川市地域交流センターゆう
- 第1号議案 施設整備計画の進捗状況について
- 第2号議案 整備事業費及び設計監理費見積承認について

理事会

- 令和3年5月27日 理事会 カフェくるみる
- 第1号議案 令和2年度事業報告並びに決算計算書類承認について
- 第2号議案 理事長専決事項報告について
- 第3号議案 6月度定時評議員会の日程について
- その他 ① 施設整備計画の進捗状況について
② 設計事務所による基本設計のプレゼンテーション
- 令和3年6月23日 理事会 くるみ会2階会議室
- 第1号議案 理事長選任について
- 令和3年7月14日 理事会 くるみ会集会室
- 第1号議案 欠員に伴う後任理事の推薦と臨時評議員会の開催について
- 令和3年10月21日 理事会（評議員会合同） 砂川市地域交流センターゆう
- 第1号議案 施設整備計画の進捗状況について
- 第2号議案 整備事業費及び設計監理費見積承認について
- 令和4年3月29日 理事会 カフェくるみる
- 第1号議案 令和4年度事業計画（案）及び事業予算（案）承認について
- 第2号議案 令和3年度利益処分案及び退職給付引当金承認について
- 第3号議案 職員給与表改正について
- 第4号議案 令和4年度人事について
- 第5号議案 理事長専決事項の報告
- 第6号議案 第3四半期決算に係る監事監査報告
- その他 施設整備進捗状況報告

(2) 監事による監査

- 令和3年5月24日 令和2年度決算監査 くるみ会議室
- 令和3年7月21日 令和3年度第一四半期決算監査 くるみ会議室
- 令和3年10月27日 令和3年度上半期決算監査 くるみ会議室
- 令和4年1月26日 令和3年度第三四半期決算監査 くるみ会議室

(3) 職員・役員研修の充実について

サービスの質の向上並びに日常業務の専門性の向上の為、積極的に研修に参加した。

日付	研修名	場所	参加者
4/7	健全経営に向けた適正人件費の算定法	オンライン研修	大辻監事
4/14	事務部門を強化させる監事監査対策徹底解説	オンライン研修	大辻監事
4/20	人材育成を加速する1 on 1 面談の実施法	オンライン研修	大辻監事
4/25~5/25	こころのピアサポートフォーラム	オンライン研修	田澤・石塚
5/25	社会福祉法人会計基礎力アップ講座	オンライン研修	大辻監事
6月~10月	相談支援従事者研修（主任相談支援専門員）	オンライン研修	田澤
6/11	業務マニュアルを活用したサービス力向上のポイント	オンライン研修	大辻監事
6/16	職員の育成・定着を促す人事評価制度の構築法	オンライン研修	大辻監事
6/28	カビの基礎知識	オンライン研修	今野・新名 大西
6/29	職員の定着・確保につながる給与制度の構築法	オンライン研修	大辻監事
6/29	カビの検査法	オンライン研修	今野・新名 大西
7/1	カビの対策法について	オンライン研修	今野・新名 大西
7/5	食品衛生に関する表示の原則	オンライン研修	今野・新名 大西
7/6	微生物検査の基礎的活用と事例紹介	オンライン研修	今野・新名 大西
7/7	食品衛生監視票の改正と一般衛生管理のポイント	オンライン研修	今野・新名 大西
7/9	社会福祉法人決算分析 事業種別の傾向と改善手法	オンライン研修	大辻監事 片山・今野
7/9	行政課題研修 「精神保健福祉基礎研修～法制度と相談支援」	オンライン研修	川村・石塚
7/13	第3回ふくし学習会	オンライン研修	初瀬尾・東 川村・石塚

社会福祉法人くるみ会

7/14	実際に役立つ期限表示のセミナー 添加物ピンポイントセミナー	オンライン 研修	今野・新名 大西
7/16	人手不足を解消するための人材採用力強化の具体策	オンライン 研修	大辻監事
7/20	安定した黒字経営を実現する経営改善のポイント解説	オンライン 研修	大辻監事
8月～10月	相談支援従事者研修（初任者研修）	オンライン 研修	東
8/10～13	障がい者福祉サービス初任者研修	オンライン 研修	三浦・相内
8/18	就業支援基礎研修	ポリテク センター	杉森
8/24	社会福祉法人会計 仕訳演習セミナー	オンライン 研修	大辻監事 三浦
8/25	砂川地域療育推進協議会 第1回学習会	砂川 市役所	初瀬尾
8/31	第4回ふくし学習会	オンライン 研修	初瀬尾・川村
9/3	現場リーダー参加型で作る中期経営計画策定の 進め方	オンライン 研修	大辻監事
9/8	職務と役割を基準とした等級制度の設計法	オンライン 研修	大辻監事
9/10	道産小麦新品種北見95号勉強会	オンライン 研修	今野・新名 ・坂上
9/15	経営意識を高めるための業績検討会議の進め方	オンライン 研修	大辻監事
9/22	職務と役割を基準とした等級制度の設計法	オンライン 研修	大辻監事
9/24	給与制度の分析と改定方針の策定法	オンライン 研修	大辻監事
9/29	原料原産地表示の原則セミナー	オンライン 研修	今野
10/1	障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会	空知総合 振興局	茅野
10/11	内部研修 虐待防止研修	紙面研修	田澤・初瀬尾 石塚・川村 東・後藤
10/12	北海道・東北ブロック社会福祉法人経営者協議会	オンライン 研修	茅野

社会福祉法人くるみ会

10/15	相談援助技術研修「依存症研修」	オンライン研修	初瀬尾
10/15	施設長のための計数管理力強化セミナー	オンライン研修	大辻監事 片山
10/20~10/22	全道ピアサポーター研修	オンライン研修	石塚
10/30、31	精神保健福祉士実習指導者講習会	星槎道都 大学	谷井
12/2	中・北空知地区障がい者雇用支援地域合同会議	オンライン研修	田澤
12/7	医療観察制度地域連絡協議会	オンライン研修	初瀬尾
12/10	旭川大学精神保健福祉援助実習報告会	オンライン研修	横田
1/14	社会福祉法人会計【予算策定】セミナー	オンライン研修	大辻監事
1/21	社会福祉法人会計【決算対策】セミナー	オンライン研修	大辻監事
2/4	2022 年に取り組むべき 人事制度設計の進め方	オンライン研修	大辻監事
2/10	職員のモチベーションが高まる 1 on 1 ミーティングの実践法	オンライン研修	大辻監事 今野
2/15	栄養成分の表示とその計算方法について	オンライン研修	今野
2/17	加工食品共同開発研修会～パン作りで活躍する微生物たち～	オンライン研修	今野
2/25	介護事業の稼働率改善とマーケティングの具体策	オンライン研修	大辻監事 今野
3/2～	福祉職のための接遇・マナー基礎研修	オンライン研修	相内
3/4	食品表示の原則セミナー	オンライン研修	今野
3/16	社会福祉施設向け BCP 策定のポイント	オンライン研修	大辻監事
3/18	社会福祉法人会計決算直前セミナー	オンライン研修	大辻監事 茅野理事・三浦
3/30	法人役員・施設長専門研修	オンライン研修	茅野
3/25	福祉業界における経営戦略と経営者・施設長の役割	オンライン研修	大辻監事 片山

Ⅲ. 障害者自立支援施設くるみ

事業内容

多機能型訓練施設

- ・生活訓練（定員 6 名）
- ・就労移行支援（定員 6 名）
- ・就労継続支援 B 型（定員 28 名）

職員

管理者	常勤 1 名（兼務）
サービス管理責任者	常勤 1 名（兼務）
就労支援員	常勤 1 名（専従）
生活支援員	常勤 3 名（専従）
目標工賃達成指導員	常勤 1 名（専従）
職業指導員	常勤 2 名（専従）
職業指導員	非常勤 5 名（専従）
給食調理員	非常勤 2 名（専従）
送迎職員	非常勤 3 名（専従）

一日の流れ（月～金）

- 8：45 ラジオ体操
- 9：00 朝のミーティング（朝の体調確認、作業配置確認、連絡事項等）
作 業（途中休憩あり）
- 11：50 片付け
- 12：00 昼 食
- 13：00 作 業（途中休憩あり）
- 14：40 片付け・掃除
- 15：00 帰りのミーティング（作業報告、連絡事項等）
- ※観察** 朝のミーティングや日頃の作業を通し病状を観察し、体調の変化に注視した。
病気やトラブルの早期発見、家族や医療機関との連携に努めた。

送 迎

砂川市内・滝川市・歌志内市・上砂川町・奈井江町・新十津川町の送迎対応を行った。
非常勤職員 3 名により朝夕の送迎体制を構築。

スタッフミーティング

業務運営会議	週 1 回	支援会議	週 1 回
パン販売会議	随時		

行 事

日付	行事名	場所	参加者数（利用者）
4/29	花見ウォーキング	施設周辺	35 名（25 名）
9/20	秋の収穫祭	くるみる	27 名（22 名）
10/20	ワンデーウォーク	上砂川パンケの湯周辺	7 名（6 名）
12/4～5	一泊旅行	上砂川パンケの湯	30 名（16 名）
12/28	クリスマス会	くるみ集会室	46 名（35 名）
3/21	手作りパン講座	くるみ集会室	24 名（18 名）

令和 3 年度実績

（１）事業効果・評価

- ・工賃を支給する際にその月の皆勤日の作業時間に応じて努力手当の支給で、利用者のモチベーションが上がり通所率向上を図ることができた。
- ・地域貢献として、職員・利用者でウォーキングをしながら、駅前などのゴミ拾い活動を行い、楽しみながら環境美化に汗を流した。（プレス空知で紹介）
- ・菓子事業が始まり、クリスマスケーキやひなまつりケーキの販売を行い売上高の向上に繋がった。
- ・くるみで「スイーツを楽しむ会」を開催し、新たな客層が増えた。
- ・農福連携（ふぁーむいのもと、鶴沼ワイナリー）による作業種類が増加した。
- ・浦臼町と鶴沼ワイナリーより、ワインの搾りかすを活用したパン製造の開発を依頼され商品化を目指している。
- ・新型コロナウイルス感染防止に努め施設内で感染者を出さなかった。
- ・一般就労への移行実績はくるみ全体で 0 名。

（２）課題

- ・利用者の障がいが多様化しており障がい特性の知識や対応力の修得が必要。
- ・作業能力に応じた多様な作業が必要。
- ・利用者工賃向上のために収益性の高い事業の開発。

○自立訓練（生活訓練）

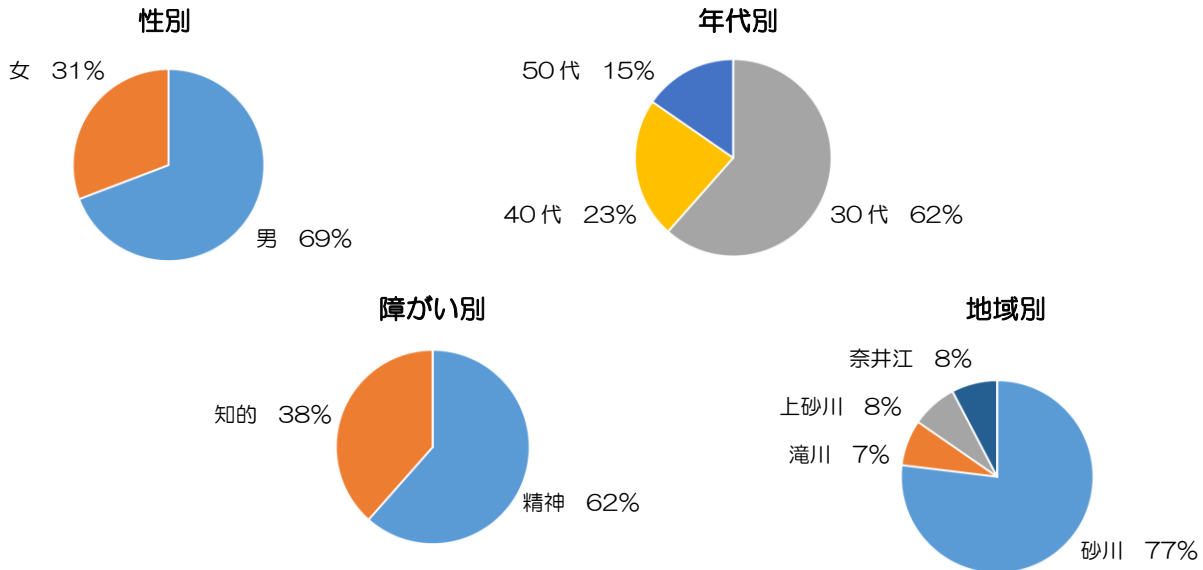
事業目的

利用者が充実した地域・社会生活を営めるよう、利用者の心身の状態に応じた必要な支援訓練を行う。
また、障がいの特性や適性などを配慮した生産活動を実施することで、利用者の社会参加を高める。

令和 3 年度実績 R4 年 3 月 31 日現在（前年度比）

- （１）利用者数 実人数：12 名（-3 名） 延人数：627 名（-450 名）
1 日平均利用者数：2.3 名（-1.7 名）

(2) 利用者の状況



特徴

- ・男女比率は、男性が増加した。
- ・年代別では 10 代と 60 代以上がいなくなり 30 代が増加した。
- ・障がい別では精神障がいが増加した。引きこもっていた利用者が多くなっている。
- ・市町別では赤平歌志内の利用者がいなくなり、砂川が増加した。

(3) 事業効果・評価

- ・身だしなみチェック表を使い利用者の健康管理、整容への意識向上を図られた。
- ・利用者の適正に合わせた作業に参加することで就労意欲が芽生えた。

○就労移行支援

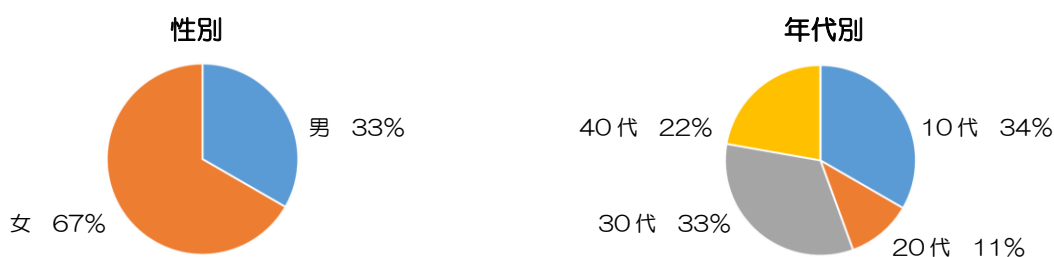
事業目的

施設内での生産活動や施設外就労、企業での実習を通して、一般就労に必要な知識、能力を養い、適性に合った職場に就労し、定着していくことを目的とした訓練指導を行う。また、公共職業安定所での求職登録など、就職活動の支援を行う。

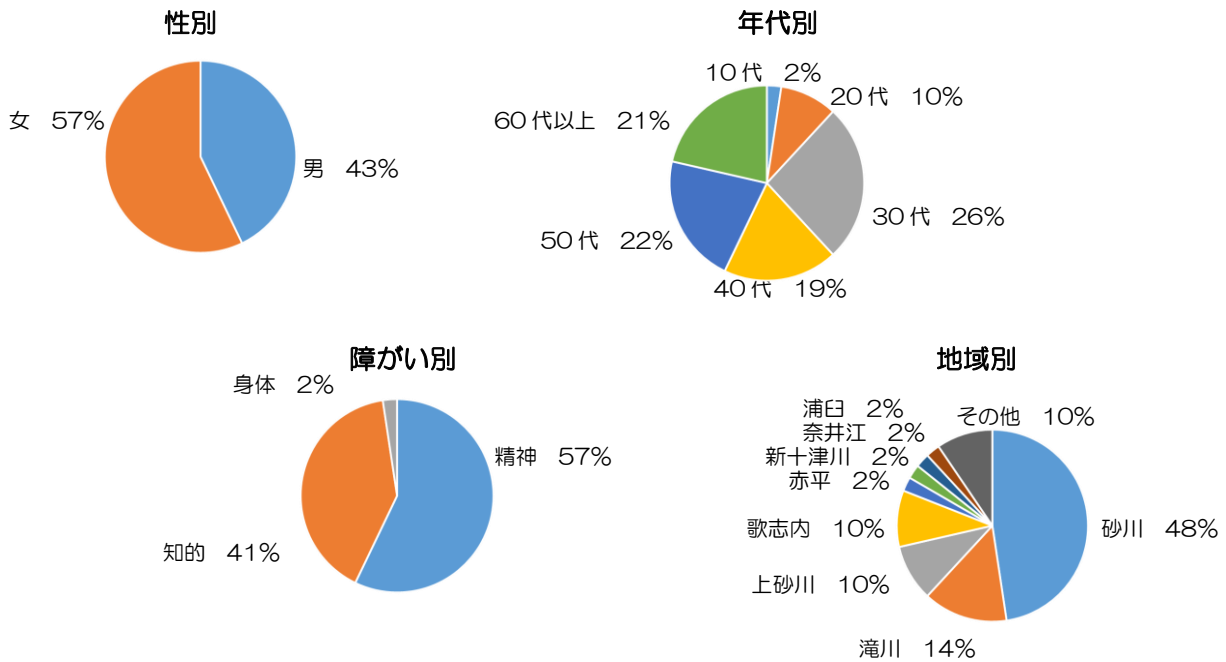
令和 3 年度実績 R4 年 3 月 31 日現在（前年度比）

- (1) 利用者数 実人数：8 名（-5 名） 延人数：1,635 名（+440 名）
1 日平均利用者数：6.1 名（+1.7 名）

(2) 利用者の状況



(2) 利用者の状況



特徴

- ・男女比率は、女性が増加した。
- ・年代別では、幅広い年齢層だが 50 代以上が 30%以上を占め健康管理や作業内容の配慮が必要である。
- ・障がい別では、精神障がいが多いが知的障がいの利用者が昨年よりも 10%ほど増加している。
- ・市町別では前年と変わらない。

(3) 事業効果・評価

- ・作業を通し、協調性や思いやりの心を持てるよう対人関係の作り方を学ぶことができています。
- ・菓子事業が始まり売り上げの向上に繋がった。
- ・コロナ禍の中、パン販売先の新規開拓数は 21 件（企業・公共施設 7 件、個人 14 件）
- ・手作り紙袋の作成によりパン販売時にお客様に喜んでもらえた。
- ・くるみで、個別依頼によるコース料理やテイクアウトの対応により客数の確保ができた。
- ・就労支援事業売上 R4 年 3 月 31 日現在（前年度）

パン売上	:	19,397,285 円	(17,518,116 円)
カフェ売上	:	8,238,784 円	(8,489,329 円)
依頼作業売上	:	1,463,164 円	(1,068,056 円)

(4) 課題

- ・病気や年齢による対応能力の低下により、作業についていくことができない利用者が増えている。
- ・多様化する障がい特性を理解し、一人一人に合った作業配置を行っていく。
- ・利用者の工賃向上の為に、収益性の高い事業の開発。

令和３年度販売管理表

		パン	カフェ											依頼作業	合計
			ボレボレ	くるみる	ショップ	クラフト	くるみ食堂	公民館カフェ	給食	仕入販売	加工品	コーヒー	合計		
4月	売上 8%	1,863,108	13,700	43,700	0	0	0	0	82,794	0	2,750	30,000	172,944	0	2,036,052
	売上 10%	0	25,600	167,650	1,920	1,200	207,450	107,970	0	0	0	0	511,790	104,475	616,265
	売上 計	1,863,108	39,300	211,350	1,920	1,200	207,450	107,970	82,794	0	2,750	30,000	684,734	104,475	2,652,317
	仕入	762,180	-114	117,020	0	0	112,151	66,199	36,518	10,617	-250	39,511	381,652	0	1,143,832
	差額	1,100,928	39,414	94,330	1,920	1,200	95,299	41,771	46,276	-10,617	3,000	-9,511	303,082	104,475	1,508,485
5月	売上 8%	1,438,367	11,700	30,820	0	0	0	0	284,380	118,910	550	22,750	469,110	0	1,907,477
	売上 10%	500	24,850	150,800	1,156	2,050	0	35,270	0	0	0	0	214,126	175,350	389,976
	売上 計	1,438,867	36,550	181,620	1,156	2,050	0	35,270	284,380	118,910	550	22,750	683,236	175,350	2,297,453
	仕入	453,098	183	126,268	0	0	0	20,377	222,036	42,978	-250	-15,158	396,434	0	849,532
	差額	985,769	36,367	55,352	1,156	2,050	0	14,893	62,344	75,932	800	37,908	286,802	175,350	1,447,921
6月	売上 8%	1,586,742	1,750	17,340	0	0	0	0	227,680	76,700	1,100	23,850	348,420	0	1,935,162
	売上 10%	550	30,450	227,530	624	600	0	27,550	0	0	0	0	286,754	150,663	437,967
	売上 計	1,587,292	32,200	244,870	624	600	0	27,550	227,680	76,700	1,100	23,850	635,174	150,663	2,373,129
	仕入	518,287	2,071	118,187	0	2,200	0	15,649	148,327	37,923	-250	28,332	352,439	0	870,726
	差額	1,069,005	30,129	126,683	624	-1,600	0	11,901	79,353	38,777	1,350	-4,482	282,735	150,663	1,502,403
7月	売上 8%	1,494,516	31,150	28,190	0	0	0	0	276,900	84,960	550	47,300	469,050	0	1,963,566
	売上 10%	1,330	42,750	196,750	3,530	1,000	0	113,570	0	0	0	0	357,600	113,226	472,156
	売上 計	1,495,846	73,900	224,940	3,530	1,000	0	113,570	276,900	84,960	550	47,300	826,650	113,226	2,435,722
	仕入	478,268	23,908	146,136	0	0	0	63,435	147,152	61,533	0	33,834	475,998	0	954,266
	差額	1,017,578	49,992	78,804	3,530	1,000	0	50,135	129,748	23,427	550	13,466	350,652	113,226	1,481,456
8月	売上 8%	1,493,522	1,800	57,950	0	0	0	0	155,150	72,720	0	31,050	318,670	0	1,812,192
	売上 10%	550	30,200	274,660	1,298	3,050	0	75,830	0	0	0	0	385,038	168,420	553,708
	売上 計	1,493,772	32,000	332,610	1,298	3,050	0	75,830	155,150	72,720	0	31,050	703,708	168,420	2,365,900
	仕入	712,198	-16,525	173,634	0	0	0	37,664	36,929	45,410	-250	46,796	323,658	0	1,035,856
	差額	781,574	48,525	158,976	1,298	3,050	0	38,166	118,221	27,310	250	-15,746	380,050	168,420	1,330,044
9月	売上 8%	1,529,097	23,050	14,800	0	0	0	0	258,100	75,580	1,650	27,750	400,930	0	1,930,027
	売上 10%	1,720	54,600	201,360	2,873	0	0	0	0	0	0	0	258,833	167,504	428,057
	売上 計	1,530,817	77,650	216,160	2,873	0	0	0	258,100	75,580	1,650	27,750	659,763	167,504	2,358,084
	仕入	490,241	5,416	116,542	0	990	0	0	158,085	59,744	-250	13,149	353,676	0	843,917
	差額	1,040,576	72,234	99,618	2,873	-990	0	0	100,015	15,836	1,900	14,601	306,087	167,504	1,514,167
10月	売上 8%	1,811,871	20,100	11,900	0	0	0	0	272,950	64,500	0	29,950	399,400	0	2,211,271
	売上 10%	95,290	38,350	245,530	4,120	2,100	0	103,760	0	0	0	0	393,860	116,449	605,599
	売上 計	1,907,161	58,450	257,430	4,120	2,100	0	103,760	272,950	64,500	0	29,950	793,260	116,449	2,816,870
	仕入	763,074	-4,518	164,587	0	924	0	71,219	125,206	102,472	0	16,575	476,465	0	1,239,539
	差額	1,144,087	62,968	92,843	4,120	1,176	0	32,541	147,744	-37,972	0	13,375	316,795	116,449	1,577,331
11月	売上 8%	1,806,664	25,050	50,700	0	0	0	0	257,950	54,440	2,850	26,050	417,040	0	2,223,704
	売上 10%	3,870	26,450	195,200	3,825	600	0	118,960	0	0	0	0	345,035	97,600	446,505
	売上 計	1,810,534	51,500	245,900	3,825	600	0	118,960	257,950	54,440	2,850	26,050	762,075	97,600	2,670,209
	仕入	662,034	19,739	125,069	0	0	0	60,684	113,843	13,024	0	3,473	335,832	0	997,866
	差額	1,148,500	31,761	120,831	3,825	600	0	58,276	144,107	41,416	2,850	22,577	426,243	97,600	1,672,343
12月	売上 8%	1,925,808	12,300	0	0	0	0	0	258,850	50,040	0	24,800	345,990	0	2,271,798
	売上 10%	1,540	41,200	191,010	7,540	1,700	0	114,750	0	0	0	0	356,200	87,979	445,719
	売上 計	1,927,348	53,500	191,010	7,540	1,700	0	114,750	258,850	50,040	0	24,800	702,190	87,979	2,717,517
	仕入	900,426	4,721	81,651	0	0	0	56,326	206,911	37,739	0	11,084	398,432	0	1,298,858
	差額	1,026,922	48,779	109,359	7,540	1,700	0	58,424	51,939	12,301	0	13,716	303,758	87,979	1,418,659
1月	売上 8%	1,336,810	11,350	4,250	0	0	0	0	263,040	60,360	1,100	36,650	376,750	0	1,713,560
	売上 10%	750	18,150	147,170	1,199	750	0	64,040	0	0	0	0	231,309	79,043	311,102
	売上 計	1,337,560	29,500	151,420	1,199	750	0	64,040	263,040	60,360	1,100	36,650	608,059	79,043	2,024,662
	仕入	606,115	-4,669	96,794	0	220	0	30,567	151,776	22,304	-500	23,185	319,677	0	925,792
	差額	731,445	34,169	54,626	1,199	530	0	33,473	111,264	38,056	1,600	13,465	288,382	79,043	1,098,870
2月	売上 8%	1,255,995	600	25,300	0	0	0	0	194,700	61,520	0	44,000	326,120	0	1,582,115
	売上 10%	880	18,750	175,750	730	300	0	0	0	0	0	0	195,530	64,972	261,382
	売上 計	1,256,875	19,350	201,050	730	300	0	0	194,700	61,520	0	44,000	521,650	64,972	1,843,497
	仕入	403,359	-4,783	169,402	0	0	0	0	108,421	60,380	0	-13,273	320,147	0	723,506
	差額	853,516	24,133	31,648	730	300	0	0	86,279	1,140	0	57,273	201,503	64,972	1,119,991
3月	売上 8%	1,746,625	18,850	32,350	0	0	0	0	237,950	64,650	1,100	28,400	383,300	0	2,129,925
	売上 10%	1,480	28,900	200,800	3,835	700	0	40,750	0	0	0	0	274,985	137,483	412,948
	売上 計	1,748,105	47,750	233,150	3,835	700	0	40,750	237,950	64,650	1,100	28,400	658,285	137,483	2,543,873
	仕入	415,004	4,017	184,342	0	330	0	20,827	138,497	39,099	0	-17,583	369,529	0	784,533
	差額	1,333,101	43,733	48,808	3,835	370	0	19,923	99,453	25,551	1,100	45,983	288,756	137,483	1,759,340
合計	売上 8%	19,289,125	171,400	317,300	0	0	0	0	2,770,444	784,380	11,650	372,550	4,427,724	0	23,716,849
	売上 10%	108,160	380,250	2,374,210	32,650	14,050	207,450	802,450	0	0	0	0	3,811,060	1,463,164	5,382,384
	売上 計	19,397,285	551,650	2,691,510	32,650	14,050	207,450	802,450	2,770,444	784,380	11,650	372,550	8,238,784	1,463,164	29,099,233
	仕入	7,164,284	29,446	1,619,632	0	4,664	112,151	442,947	1,593,701	533,223	-1,750	169,925	4,503,939	0	11,668,223
	差額	12,233,001	522,204	1,071,878	32,650	9,386	95,299	359,503	1,176,743	251,157	13,400	202,625	3,734,845	1,463,164	17,431,010

○就労定着支援（ワークケアくるみ）

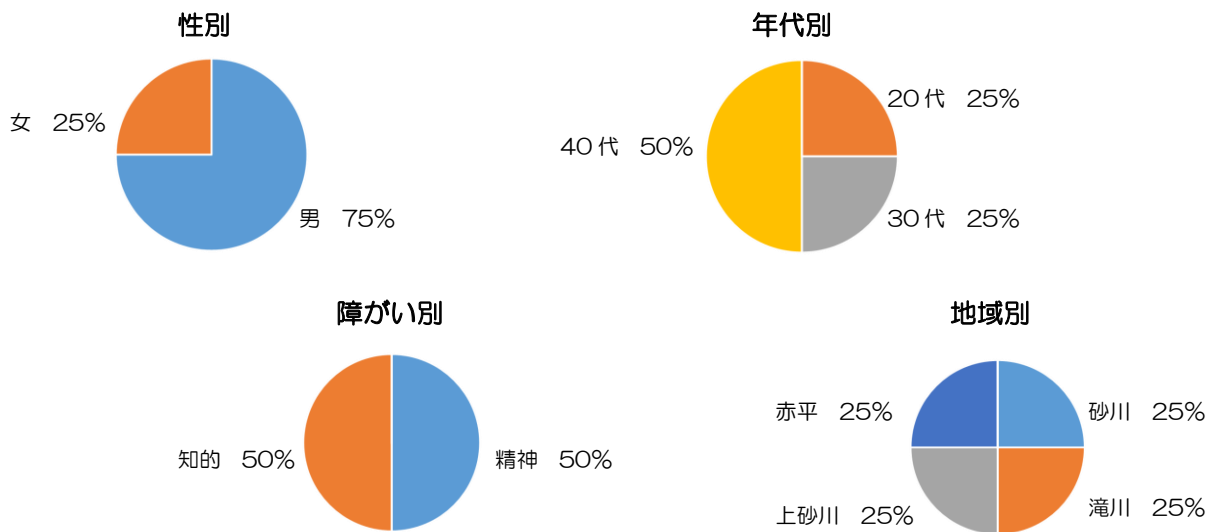
事業目的

一般就労へ移行した障がい者について、就労に伴う生活面の課題を改善するために、企業や自宅等への訪問、本人による来所等により必要な連絡調整や指導・助言等を行い、就労の継続のための支援を行っていく。

令和 3 年度実績 R4 年 3 月 31 日現在

- (1) 利用者数 実人数：4 名（±0 名） 延人数：38 名（+2 名）
1 ヶ月の平均利用者数：4 名（+1 名）

(2) 利用者の状況



(3) 特徴

- ・前年度と同じ利用者は、今年度も継続してサービスを利用している。
- ・安定して勤務できている人が多い。

(4) 事業効果・評価

- ・生活面や就労先での課題の確認や改善方法などの相談支援（面談）を行った。
- ・就労移行支援から一般就労した利用者を、引き続き定着支援へとつなげることが出来た。
- ・月に 1 回以上企業訪問を行い、事業主から本人の作業状況の確認を行った。
- ・利用者が他市町村へ引っ越した際、手続きに不備があり 2 か月間サービスを利用できなかった。その間も支援を継続したが給付請求はできなかった。
- ・利用者からステップアップのため転職したいと相談があり、前職離職から 1 か月以内に再就職し、継続してサービスを利用出来た。

(5) 課題

- ・定着支援を利用する利用者の確保
- ・地域や事業主へサービス内容の周知と理解
- ・利用者の自己実現へ向けた支援

V. 地域生活支援センターぽぽろ

事業内容

地域活動支援センター（市町委託 4 市 5 町）

精神障がい者地域生活支援事業（中空知圏域）（北海道委託）

相談支援事業

- ・市町村相談支援事業（市町委託 4 市 4 町）
- ・指定特定相談支援事業
- ・指定一般相談支援事業

地域生活支援拠点事業（市町委託 3 市 4 町）

職員

施設長（センター長）常勤 1 名（専従）

相談支援従事者 常勤 4 名（専従）

看護師 非常勤 1 名（兼務）

○地域活動支援センター事業（I 型）

事業目的

病気や障がいを抱えながら地域で生活している人に日中活動の場を提供する。

また、地域住民等に障がいの理解を深める普及啓発活動を行う。

令和 3 年度実績（前年度比）

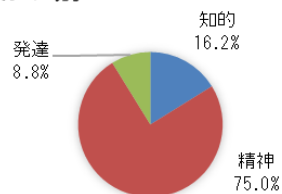
- （１）利用者数 実人数：68 名（-16 名） 延人数：2,934 名（-532 名）
 開所日数：205 日（-5 日） 1 日の平均利用者数：15 名（-2 名）
 オンラインサテライト 延 18 名

（２）利用者の状況

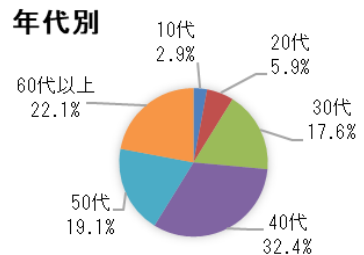
性別



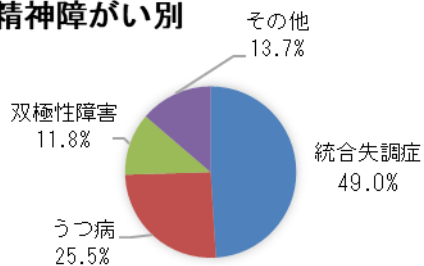
障がい別



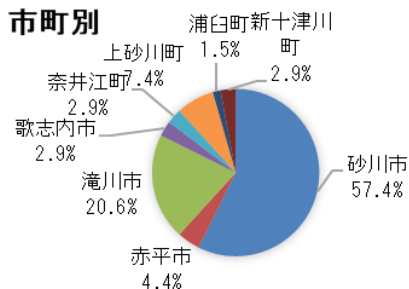
年代別



精神障がい別



市町別



(3) 特徴

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国の緊急事態宣言が発令されていた期間は地域活動支援センターを閉所した。その間は、定期的に電話による健康状態や生活状況の把握に努め、また、長期間自宅で過ごしていても仲間とのつながりを感じられるように、利用者や職員の近況報告などコメントを掲載した「かわら版号外」を発行した。
- ・なお、8～9月の緊急事態宣言発令期間は、利用者の大半がコロナワクチンの接種を終え、感染防止対策も確立されてきたことから、日数を減らして開所した。
- ・令和3年8月より、オンラインサテライトを導入した。新型コロナウイルスの影響による自主的な外出自粛等により仲間との交流が希薄になる傾向があり、そのような状況の中でも仲間とのつながりを保つことを目的としている。
- ・利用者数が大きく減少している。新型コロナウイルスの影響による外出自粛や、サテライト移転に伴いこれまでの利用者が減少したほか、今年度は見学や新規利用者数が7名と例年よりも少なかった。

(4) 事業内容・評価

社会参加や日常生活向上を図ることを目的に、次のことを実施した。

目的	実施内容	評価
コミュニケーション能力を高める	・ミーティング ・語ろう会 ・オンラインサテライト	自分のことを語る、他者の話を聴くことを通して、コミュニケーション能力が向上した。オンラインサテライトでは、体調が悪い等の理由で来所できない時でも、仲間とのつながりを保つことができています。
社会性と自主性を養う	・季節の行事・創作活動 ・ランチタイム・作業体験 ・サークル活動	プログラムの企画運営やサークル活動を通して、自主性を高めることや、仲間づくりにつながっている。
自分の病気や障がいの認識を深める	・当事者研究 ・疾病別当事者交流会 (統合失調症、うつ・双極性障害)	病気や障がいについて安心して話せる場となっており、利用者同士のコミュニケーションを通して、安心感をもつことができ、自分の病気や障がいについて認識を深めることができています。
健康を増進する	・パークゴルフ ・歩こう会 ・ラジオ体操 ・料理教室	日課のラジオ体操やウォーキングなど運動プログラムを継続して実施したことで、体力や筋力の向上につながり、健康への意識づくりができた。
障がい理解の普及啓発をすすめる	・各市町、精神科病院等にポスターを掲示依頼 ・広報誌を作成	公共施設にプログラムの掲示を依頼することで、地域活動支援センターの存在を地域住民に周知している。

(5) 課題

- ・利用者数が大きく減少した。利用者確保のため、周知の拡大やプログラム内容の検討が必要。
- ・プログラムへの参加者が減少しており、プログラムのマンネリ化や参加の動機づけが課題となる。
利用目的に合わせたプログラムの検討をしていく。
- ・オンラインサテライトを導入したが、当初は利用が多くあったものの、次第に利用者は減少している。利用者だけではなく、関係機関に対しても幅広い周知が必要である。

○精神障がい者地域生活支援事業（中空知圏域）

事業目的

- (1) 精神障がい者が暮らしやすい地域づくりの推進。
- (2) 精神障がい者が安心して、安全に暮らせる支援ネットワーク体制の構築。
- (3) 長期入院者の地域移行・地域定着を支援。

令和3年度実績

(1) 地域生活移行支援協議会の開催

- ・地域移行検討委員会の設置：市町・医療機関・障がい福祉サービス事業所が参加し情報交換や課題の共有及び検討を行った。

・地域生活移行支援協議会

参加者：滝川保健所、5市5町、7医療機関、5障がい福祉サービス事業所

回	開催日	出席者	内容
1	7/29 (検討 委員 会)	10名	○事業説明 「精神障がい者の地域移行に関する課題の検討と今後の取り組みについて」 ○令和2年度の地域移行協議会の振り返りと今年度の内容検討
2	10/25	27名	○事例検討「地域移行支援から地域定着支援に繋ぎ単身生活を送っているが、連絡が上手く取れないケース」(紙面開催) 事例提供者：ほほえみプラザ 主査 砂原友香氏 ○事例資料及び質問票を送付。質問票の内容を集約し、事例提供者に回答いただき出席者へ送付
3	12/23	14名	○事例検討「地域移行支援から地域定着支援に繋ぎ単身生活を送っているが、連絡が上手く取れないケース」(オンライン開催) 事例提供者：ほほえみプラザ 主査 砂原友香氏 ○zoom ミーティングによるオンライン開催

(2) ピアサポーターの育成

ピアサポーター6 名

(ア) 外部研修

開催日	内 容
毎週火曜日	<u>定例研修会（場所：地域生活支援センターぽぽろ）</u> ・ピアサポーター活動の企画運営評価 ・資料作成
毎月 1 回	<u>ピアサポーター会議（場所：地域生活支援センターぽぽろ）オンライン開催</u> ・全道ピアサポーター研修会に向けた会議 ・各圏域からの活動報告、企画案内
10/20～22	<u>全道ピアサポーター研修会（場所：地域生活支援センターぽぽろ）オンライン開催</u> ・各圏域・道外のピアサポーターによる活動内容の発表、交流、グループワーク等 ・研修動画の視聴 ※当センターからは、今年度の活動について報告
11/11～ 11/12	<u>ピアカウンセリングセミナー（場所：地域生活支援センターぽぽろ）オンライン開催</u> ・演習を行いながらピアサポート活動に必要な知識を学んだ

(イ) 地域移行・定着支援への実施

対象者	対象者の概要	同行支援	内容
Aさん	単独通院をしたことがなく、不安の軽減を図る。	2 回	グループホームから病院までの往復を同行する。ピアサポーターと通院したことで不安が解消され、現在は単独通院できている。
Bさん	サテライト通所に向けてバスの乗り方等を支援し、一人でも安心して通所できるようにする。	1 回	自宅最寄りのバス停からサテライトまで同行する。支援により、プログラムに参加したいと意思表示があった。

(ウ) 他圏域との交流

- ・新型コロナウイルスの影響により対面での交流が厳しい状況で、オンラインを活用するなど交流の仕方を検討していく必要がある。

(エ) ピアサポーター活動の普及

- ・地域活動支援センターサテライトにて、8 月「夏休みゲーム大会」のイベントを企画。
- ・広報紙「ぽぽろかわら版」に「ピアサポーター活動を紹介します」コーナーを作り、日頃の活動を紹介している。
- ・ぴあサポ通信「ふくいばたお通信」を作成し、中空知管内の市町村や病院に掲示を依頼し、ピアサポーターについて紹介している。

(3) 精神科医療機関・関係機関との連携

①市町村・各病院へ事業説明

- ・令和3年5月、中空知圏域の市町村役場福祉課、精神科病院に出向き、当事業の説明、協力依頼を行った。直接出向くことが困難な機関については電話や資料の送付にて協力依頼を実施。

②砂川市立病院・滝川市立病院・滝川中央病院・平岸病院・慈恵会病院スタッフと精神科入院者の退院支援について情報交換を実施。

③こころカ・プロダクション主催による年5回のセンター長会議（zoomによるオンライン開催）に参加し、全道のセンター長や北海道庁職員と情報交換を行い、連携を図っている。

(4) 今年度の特徴

- ・前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により活動の縮小が余儀なくされた。
- ・面会制限により院内交流会を中止したため、入院している方との交流や情報を届ける機会が減少した。

(5) 事業効果

- ・検討委員会を設置し、各地域の長期入院者に関する現状や問題を共有し、中空知圏域の精神障がい者支援に関する地域課題を明確にして、参加者の要望に沿った協議会内容を企画して進めた。
- ・紙面及びオンラインでの開催としたことで、これまでさまざまな都合により参加が難しかった事業所や、今まで参加のなかった種別の事業所の参加が多数ありました。
- ・同行支援において、ピアサポーターが付き添いバスに同乗することで不安の軽減につながりました。
- ・外部研修等に参加して見聞を深め、コロナ禍におけるピアサポート活動の在り方について考えることができた。
- ・地域活動支援センターでのイベント企画を行ない、利用者とともに参加することで、ピアサポート活動の普及啓発につながった。

(6) 課題

- ・コロナ禍においても地域移行支援が進められるよう、オンラインを活用するなどして支援方法を検討していく必要がある。
- ・ピアサポーターの担い手が少なく、当事者に向けたピアサポート活動の周知が必要。
- ・市町や医療機関、各施設担当者の異動があり、事業の継続的な周知が必要。

〇市町村相談支援事業（4市4町委託）

事業目的

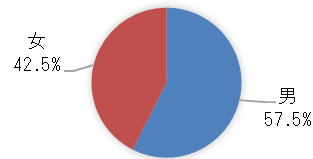
- ・中空知圏域在住の障がい者（身体、知的、精神、難病、発達障がい等）及び家族などからの相談に応じ、課題解決を目指す。

令和3年度実績（前年度比）

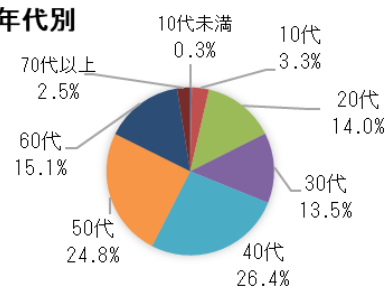
(1) 相談人数 延人数：1,302人（－359人） 実人数：164人（＋1人）

(2) 利用者の状況

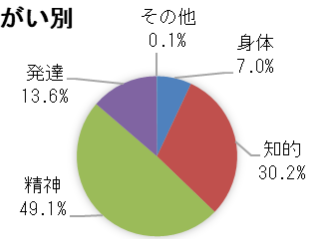
性別



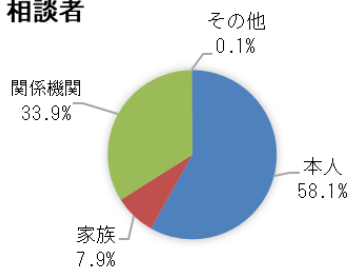
年代別



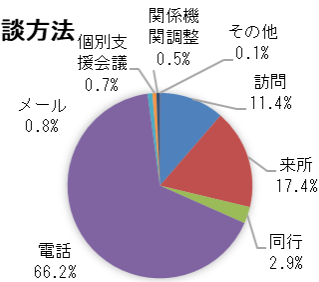
障がい別



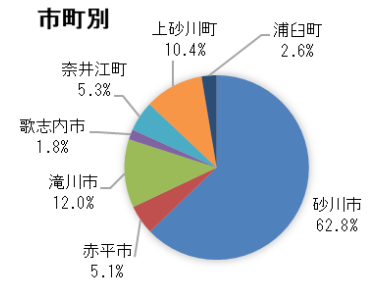
相談者



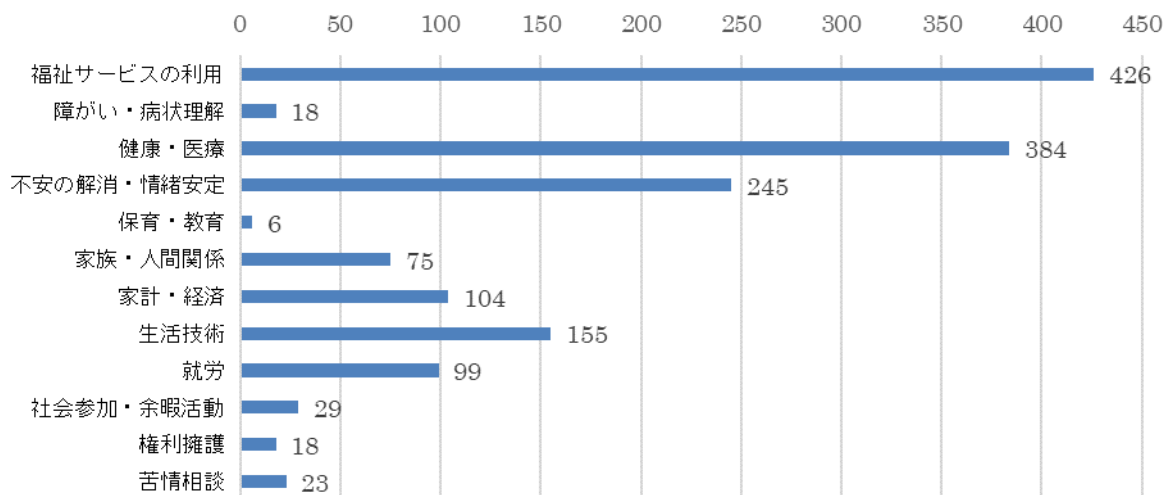
相談方法



市町別



相談内容



(3) 特徴

- ・地域移行支援の利用には至らなかったが、長期入院者や入院が長期になりそうな人の退院支援を行った。
- ・地域で生活する障がい者の支援を継続してきたことで、より密な関係構築がなされ、日々の些細な困りごとや不安を気軽に相談しやすい場となってきた。
- ・障がい者本人だけではなく、家族全体の支援が必要なケースも多く、児童分野や介護分野との連絡調整が増加している。

(4) 事業効果

- ・身体・知的・精神など成人の障がい者だけではなく、疾病や障がいのある児童や若年性認知症、ひきこもりの方の相談窓口としても定着している。
- ・病気や障がいを抱える当事者だけではなく、家族が抱える不安やつらい気持ちを相談できる窓口として定着してきた。
- ・多問題を抱える障がい者や家族全体に支援が必要なケースが多くなっており、障がい福祉以外の関係機関とも連絡がとりやすい関係づくりが進み、障がい者を包括的に支える体制が整えられてきた。

(5) 課題

- ・相談の少ない地域に向けては、地域住民や関係機関への周知や出張相談会など実施していく必要がある。
- ・近年、障がい福祉だけではなく、児童・介護分野など他分野の関係機関との連携が増加してきており、幅広い分野の知識やより緊密な連携が必要になっている。

○指定一般相談支援事業

事業目的

- ・施設入所や入院中で地域移行が可能な障がい者について入院・入所中から継続して支援を行い本人の希望する在宅生活を推進する。

令和3年度実績

(1) 実施件数 1件（地域定着 1件）

利用者	年代・性別 疾患名	支援 期間	今回入院期間	現在の状況
Aさん	60代・女性 双極性障害	地域定着 12か月間	1年4か月	令和2年6月退院。居宅介護等の福祉サービス、地域活動支援センターを利用しながら自宅で一人暮らしをしている。退院後から地域定着支援を利用し、現在も継続している。

(2) 事業効果

- ・地域定着支援を利用することで、緊急時に対応できる体制が整備され、また、日常生活における困りごとを相談しやすい関係ができています。

(3) 課題

- ・入院している精神障がい者に対し、事業の周知を継続していく必要がある。
- ・他の一般相談支援事業所や病院関係者と情報交換や課題検討を行ないながら、コロナ禍においても支援が継続できるよう工夫していくことが必要。

○指定特定相談支援事業

事業目的

- ・障がい福祉サービスを利用している人の包括的な支援計画を作成する。また、作成した支援計画が利用者の状況に合っているか定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて支援計画の見直しをしていく。

令和3年度実績（前年度比）

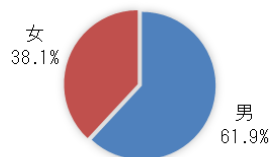
（１）実施件数

実人数：373 件（+17 件） 計画策定：306 件（+76 件）

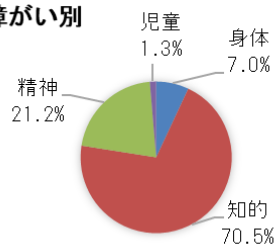
モニタリング：585 件（+12 件）

利用者の状況

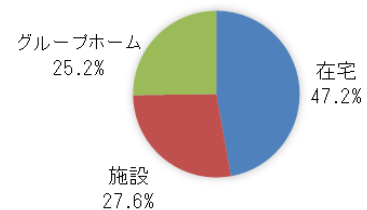
性別



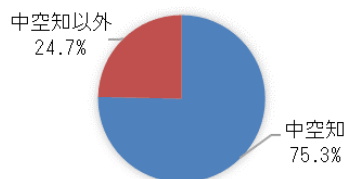
障がい別



居住地別



依頼市町



（２）特徴

- ・度重なる緊急事態宣言やまん延防止措置のために、事業所へ訪問することが困難になり、電話による対応や事業所職員からの聞き取りのみの対応が多くなった。利用者と直接面会し、利用者の思いを聴く機会が少なくなった。
- ・利用者の高齢化に伴い、介護サービスへの移行や併用、内科疾患を併発するケースが増えてきて、介護分野や精神科以外の医療機関等との連携が多くなっている。

（３）事業効果

- ・近年セルフプランから移行する人が増加。計画相談を利用することで、さまざまな情報を得たり、スムーズに福祉サービスにつながるができる。また、利用者と事業所との調整役になるため利用者の負担を減らすことができる。
- ・モニタリングを定期的に行なうことで、その時の本人の状況に合わせて福祉サービスの調整を行ない、本人のニーズに合わせた支援を提供し続けていくことができる。

(4) 課題

- ・新型コロナウイルスの影響で、利用者と面会できる機会が少なくなっている。
今後も直接の面会が難しい状況が続く場合は、利用者の思いに十分に耳を傾けられるよう、事業所と相談しながら工夫を凝らしていくことが必要。
- ・近年、利用者の高齢化が進み、介護サービスとの併用や移行するケースが増加してきている。
利用者の状況に合わせて、適切なサービスが提供されるよう関係者と情報共有が必要である。

○地域生活支援拠点事業

事業目的

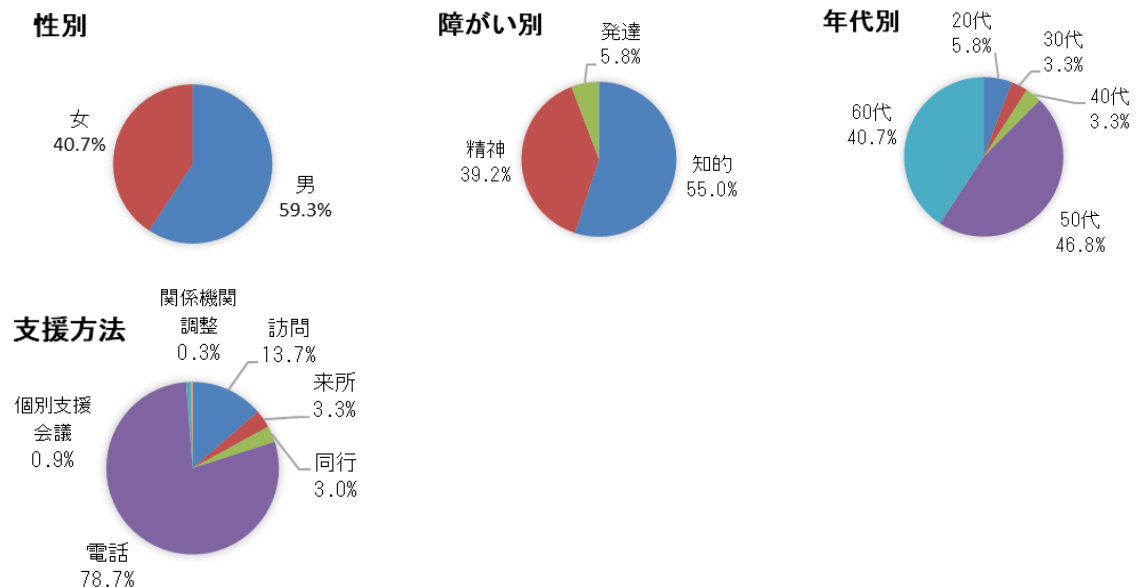
- ・地域で生活する障がい者の緊急時の対応や、親亡き後の生活や障がいの重度化・高齢化を見据え、地域全体で障がい者の地域生活を支える支援体制の構築を目指す。

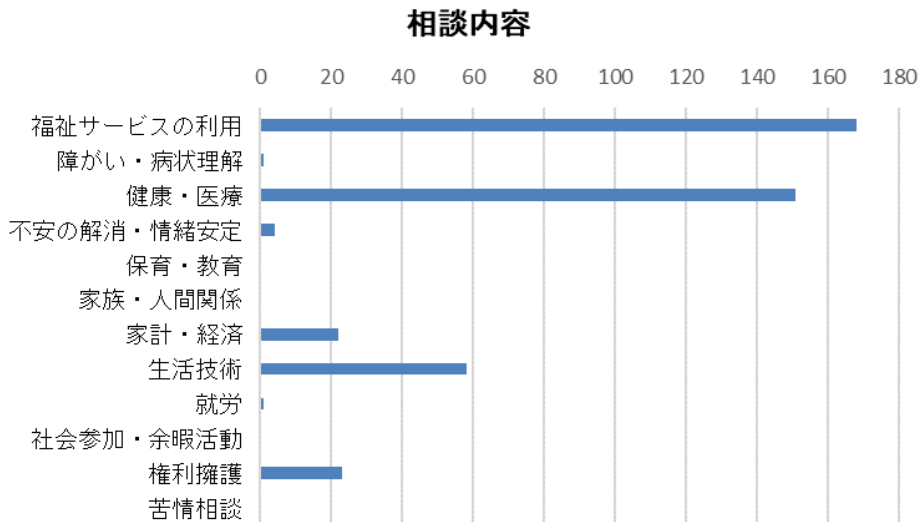
令和3年度実績

(1) 実施件数

相談件数 延 329 人、実人数 15 人

(2) 利用者の状況





(3) 特徴

- ・令和3年度より3市4町の委託を受け開始した。今年度は、緊急時に受け入れ可能な事業所、体験の場として利用可能な事業所の依頼を行ない、体制整備を進めた。
- ・虐待などの理由で家族との分離が必要なケースや、近くに頼れる親族がいない一人暮らしをする障がい者の緊急時の対応を行なった。また、同居していた親が亡くなり一人暮らしとなった人のサービス構築のための対応を行なった。

(4) 事業効果

- ・同居していた家族が亡くなった場合に、早急に適切なサービスにつなげたり、事業所間の調整役を担い円滑な福祉サービスの利用につながっている。
- ・一人で生活する障がい者の入院等緊急時において、頼れる親族がいない場合や遠方のためにすぐには対応できない場合に当センターで代行することで、早期に適切な治療を受けることができたり、親族の負担を減らすことができた。

(5) 課題

- ・令和3年度から開始したものであり、当事業の内容が関係機関に十分に浸透していない。
- ・地域で生活する障がい者の緊急時に早期に対応できるよう、日頃から当センターとつながりを持ち情報を把握しておくことが大切であり、当センターについて、地域住民に幅広く知ってもらうことが必要。

○その他事業及び主な取り組み

【地域自立支援協議会】

- (1) 委員派遣 依頼市町：砂川市、赤平市、歌志内市、奈井江町、浦臼町

【障がい支援区分認定調査】

(1) 実施件数 19 件

依頼市町：札幌市北区、札幌市南区、増毛町、弟子屈町、江別市、岩見沢市、白老町、赤平市、
京都府向日市

【精神障がい者家族支援事業】

(1) 実施状況

日 時	毎月第 3 金曜日 13：30～15：00
場 所	砂川市地域交流センターゆう
参加の状況	3 回実施、延人数 12 名
内 容	座談会

(2) 事業効果

- ・病気や障がいをもつ人から離れ、互いの思いを表出することで、家族のこころを軽くしたり、「自分だけではない」という安心感をもつことができている。
- ・家族同士の結びつきを深め、情報交換するなど家族間のネットワークづくりができた。

(3) 課題

- ・新規の参加が少なく、周知活動と内容の検討が必要。

【普及啓発事業】

(1) 実施状況

- ・広報誌かわら版の発行（年 3 回）、パンフレットの配布、ポスターの作成、ホームページの活用をしながら普及啓発を行った。

(2) 課題

- ・当センターのポスターやパンフレットを、行政や医療機関など関係機関のみならず、幅広く掲示を依頼し、地域住民に広く周知していく必要がある。
- ・広報誌を活用し、当事者の声を幅広く届け、障がいの普及啓発をすすめていく。

Ⅵ. 外部サービス利用型共同生活援助どんぐり

事業目的

住宅を提供し、自立に向けた援助・支援を行うことで、障がい者の地域生活を推進する。

事業内容

世話人の調理による家庭的な食事の提供、日常生活の援助、相談支援。

職員との週1回のミーティングによる入居者の状況把握と健康管理。

施設 どんぐり (砂川市西4条北4丁目1-20) 定員6名
 かえりゃんせ (砂川市吉野1条南8丁目1-2) 定員6名
 かえりゃんせⅡ (砂川市吉野1条南8丁目1-3) 定員6名

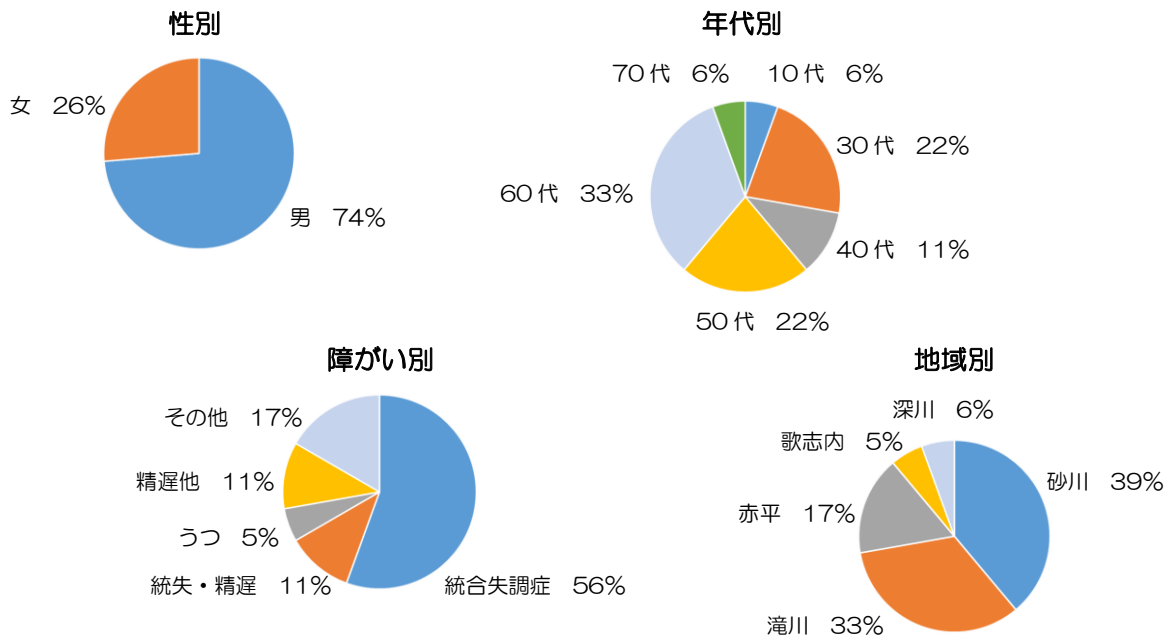
職員 管理者(施設長) 常勤1名(兼務)
 サービス管理責任者 常勤1名(兼務)
 看護師 非常勤1名(兼務)
 世話人(6:1) 常勤1名(兼務) 非常勤6名(専従)
 ※利用者6名に対して常勤換算で世話人1名を配置すること。

令和3年度実績

(1) 利用者数 実人数: 19名(−3名) 延人数: 6,308名(+406名)
 1日平均利用者数: 17.2名(+1.1名)

令和3年度支援区分別グループホーム利用実績一覧																	
												赤字: 体験		: 入院		: 契約前及び退居	
氏 名		4月～1月 障害支援区分	2月 障害支援区分	3月 障害支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	秋庭 景一	非該当	非該当	非該当	30	31	25	25	31	30	31	30	31	31	28	31	354
2	佐藤 太	非該当	非該当	非該当	30	31	29	31	31	30	30	30	31	31	27	31	362
3	高杉 光浩	非該当	非該当	非該当	29	30	29	31	30	30	30	30	30	28	28	30	355
4	高田 光雄	非該当	非該当	非該当	18	31	27	22	31	30	31	27	30	31	28	31	337
5	福司 龍也	2	2	2	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	28	30	362
6	増田 章一	非該当			30	31	30	31	31	30	31	10	0	0			224
7	上山 正晃	非該当	非該当	非該当	29	27	29	30	30	29	30	29	28	29	27	30	347
8	尾田 和子	非該当	非該当	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
9	川森 智美	非該当	非該当	非該当	22	31	26	31	29	30	31	30	28	27	27	30	342
10	船江 信一	非該当	非該当	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
11	源 祐輔	非該当	非該当	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
12	吉田 和豊	非該当	非該当	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
13	後藤 純子	非該当	非該当	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
14	鈴木 裕之	2	2	2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
15	高橋 博志	非該当	非該当	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
16	開 光男	非該当	非該当	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
17	前田 睦巳	2	2	2	30	20	30	26	21	30	31	30	31	30	28	31	338
18	向井 裕子	非該当	非該当	非該当	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
19	安田 敦志			非該当												2	2
20																	
21																	
合 計					518	542	525	537	544	539	555	516	518	516	473	525	6,308
					18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	19

(2) 利用者の状況



- ・男女比率では、男性の利用者が多いが前年度よりわずかに女性の利用者が増えている。
- ・年代は50代、60代が7割弱で、70代の利用者もいるため高齢化傾向にあるのは変わらない。
- ・障がい別では、統合失調症の利用者が知的障がいとの重複を合わせると8割を占める。
- ・市町別では、砂川市外の利用者が多い。

(3) 事業効果・評価

- ・前年度に職員の退職が続いたが、本年度2名を採用し世話人の欠員を解消することができた。
- ・利用者について今年2月に1名が退去したが、間を置かず次の入居希望者につなぐことができた。
- ・新型コロナウイルス感染症について、うがい、手洗い、マスク着用、検温、黙食など基本的な感染対策の励行のほか、感染リスクの高い場所への外出自粛の呼びかけを徹底したことで、入居者から一人も陽性者を出さずに済んだ。

(4) 課題

- ・多数の入居者に過食の傾向がみられる。体重増加による生活習慣病リスクの軽減に向けた注意喚起が必要。
- ・利用者の高齢化が進み身体機能が低下している入居者が増えている。日常生活維持のための対策が必要。
- ・グループホームどんぐりの老朽化が著しく、建て替えなど早急な対応が必要。